

令和5年度 看護部教育研修計画（新人看護職員等/ラダーレベルⅠをめざすもの）

令和5年4月1日

新人看護職員研修運営委員会

※既卒採用者、中途採用者については基礎教育が赤十字関連以外の場合、「赤十字」「グローバルヘルス」の研修受講は必須（日看協クリニカルラダー取得者でも同じ）、医療安全（安全、感染）メンタルヘルスについては施設での取り組みがあることから研修受講は推奨

※当院看護職員でラダーレベルⅡ申請者であっても、本研修計画の受講を妨げるものではない

※研修会場は全て多目的ホール1,2 OJT研修の場合は各部署で実施

			卒2対象		プリセプター対象
研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護基礎研修/ 看護部	(27) (32) (33) (38) (43) (48) (23) (26)	院内全体研修コース：社会人基礎力関連 CK2304 「医療職が育む社会人基礎力の必要性」 CK2351 「新医療人のためのビジネスマナー」 ミミガクコース FB2302 「明日から使える！コミュニケーション・テクニック」～患者さんへの接し方	看護職員としての自覚を持ち、配属先において看護部職務規定における「助産師」「看護師」として行動するための基礎を身につける	佐藤由夏看護部長 三浦範子看護副部長 清水富士子看護副部長 新人看護職員研修運営委員長	4/4 (火) 8:30-17:00 4/6 (木) 8:30-12:00
フィジカルアセスメント入門（基礎看護技術FU研修）◎5 AO手術室	(6) (9) (10) (11) (25)	看護基礎習得コース AA2364 「3日坊主にならない入職後の学習方法」	1.対象に合わせた援助方法を習得する 2.手順に基づいた基本的看護技術を学びなおし、OJTで活用し対象に合わせて実施することができる 3.日常ケアに必要なフィジカルアセスメント能力を高めるための、基本的知識を理解し実践で活用することができる	各部署教育担当者	4/5 (水) 9:00-15:00
ナラティブ発表会/ ◎鈴木○今野	(23) (24) (25) (26)		1年間の看護実践場面において心に残っている場面を3段階法で振り返り「大切にしたい看護」を概念化する		4/6 (木) 13:00-15:45
正しいME機器の取り扱いとトラブルシューティング （人工呼吸器、ASV、NHF）/◎ ICU ○新生児	(6) (9) (10) (11) (26) ※レベルⅠ認定済み みのもは (59) (63)	看護基礎習得コース AA2306 「明日からケアも怖くない！人工呼吸器ベーシック」	1.正しい機器類の取り扱いを習得し、OJTで担当患者の看護実践に活かすことできる 2.機器類の作動状況を管理し、異常発見時の対応がOJTでできる	松田光喜機器管理課長、 機器管理課員	4/7 (金) 13:30-16:00
看護過程研修/ ◎各部署教育担当者 ○各部署係長	(7) (9) (10) (18) (21) ※レベルⅠ認定済み みのもは (59) (60) (69)	看護基礎習得コース AA2362 「事例で学ぶ！やさしい看護過程」	受け持ち患者の看護過程を「身体的」「精神的」「社会的」「スピリチュアル」な側面から展開し、チームメンバーと共有し、看護実践が途切れないよう看護計画が修正できる ※研修日前日までに関連図を教育担当者へ提出すること	各部署教育担当者	4/11 (火) 8:30-16:00 ※16:00-リフレクション 【OJT研修】
グローバルヘルス入門/◎今野○鈴木	(50) (51) (52)		1.国内外の保健、医療、看護、福祉の動向に関心を持つことできる 2.当院に受診する外国人などの特性と健康問題を知り、入院場面での看護上の課題に気づくことできる	今野千春 （新人看護職員研修運営委員長）	4/12 (水) 9:00-10:30
赤十字看護基礎編/ ◎3HCU ○7B	(1) (2) (3) (4) (5) (41)		1.災害対策マニュアルの発生時の初期行動が分かり、「自分の安全確保」「患者の安全確保」「職場の安全確保」をリーダースタッフ指示の下行動できる 2.災害発生時の自主参集基準を理解し、参集する際に携行する防災用品を確認、準備しておくことできる 3.部署の避難経路を把握し、避難用具を用いた避難行動を指示に基づいて実施できる	看護部災害対策チーム 三浦則子（7B） 松田大典（3HCU）	4/12 (水) 13:30-15:00
フォローアップ研修 /◎鈴木○今野	(43) (44) (45)		1.「自己教育における課題に気づき」1年間の計画を各部署看護目標から立案・実施・評価ができる 2.看護理論を選択し、概念を読み込み実践場面と事例検討得wポートの「考察」に活かすことできる	※年間計画書の提出は 5/8 (月) 10:00 教育担当者、所属部長の助言後、提出	4/12 (水) 15:30-17:00
看護基礎研修（看護技術を支える要素としての医療安全：感染対策）/ ◎今野○鈴木	(41)	院内全体研修コース：感染対策関連 CB2302 「学びなおしの標準予防策」	1.当院の院内感染の基本ルールが分かり、標準予防策を実施することができる 2.手指衛生の5つのタイミングを習得し、臨床実践場面でタイミング行動ができる 3.ポケットブックを携行し、活用しながら医療安全行動が取れる	井上貴子 （感染対策室/感染管理認定看護師）	4/13 (木) 9:30-12:30
看護基礎研修（看護技術を支える要素としての医療安全：医療安全対策）/ ◎今野○鈴木 （4/14,4/18） ◎6A ○産科 （5/19）	(41) (42)	院内全体研修コース：医療安全関連 CK2302 「基礎から学ぶ！医療安全」 看護基礎習得コース AA2356 「転倒・転落予防のためのアセスメントを知ろう」 AA2303 「看護師が知っておきたい薬物療法」	1.当院の医療安全体制を理解し、転倒・転落防止対策を臨床実践場面で活用することができる 2.当院のインシデント・アクシデント報告の基本ルールが分かり、助言を得ながら実施することができる 3.患者の療養環境を整えるための「医療安全対策」を実施できる 4.患者誤認防止策を習得し、臨床実践場面でいかなる場面で実施することができる 5.新人看護職員が取り扱うことのできない薬剤一覧をもとに、臨床実践実践場面でその理由を行動化できる 6.看護基準、手順に基づき正しい与薬が対象に合わせて実施できる	4/14 ：五十嵐淑恵（医療安全推進室/医療安全管理者） 4/18、8/17 ：小松かおり（看護部医療安全委員長） 佐藤恵子（医療安全副委員長） 5/19 ：各部署教育担当者またはプリセプター	4/14 (金) 9:30-12:30 4/18 (火) 13:00-15:00 ※患者誤認防止策、医薬品の取り扱い 5/19 (金) 10:00-17:00 ※与薬の技術：内服 8/17 (木) 13:30-15:00 ※転倒・転落防止策
看護倫理入門/ ◎今野○鈴木	(15) (16) (19) (20)	「若菜と読む赤十字基本原則」（図書室）	1.赤十字基本原則を理解し、優先順位を判断する際に活用することができる 2.「看護者の倫理綱領：日本看護協会」の実践が赤十字原則に繋がること臨床場面で気づくことできる	佐藤麻美 （看護部倫理委員会委員長）	④4/18 (火) 9:00-11:00 ②10/19 (木)
フィジカルアセスメント入門（呼吸・循環を整える技術FU）/ ◎4B ○7HCU		看護基礎習得コース AA2352 「安全で安楽な排痰・吸引技術をモノにしよう」	1.対象に合わせた口腔ケアが実施できる 2.対象に合わせた気道・呼吸ケア、体位ドレナージが実施できる 3.酸素療法を目的を理解したうえで、指示に基づいて看護基準に沿った実践ができる（酸素マスク、カヌー、リザーバー）	各部署教育担当者	4/20 (木) 9:00-17:00 ※午後はOJTで実践
フィジカルアセスメント入門（褥瘡予防対策・スキンケア予防技術）/ ◎6B ○5A	(6) (9) (10) (11) (25)	看護基礎習得コース AA2302 「褥瘡ケアのいろは～予防・発見・悪化防止の3ステップ」	1.対象の皮膚を観察し、褥瘡アセスメントを助言を得ながら実施できる 2.対象に合わせた褥瘡予防ケアが助言を得ながら実施できる 3.スキンケア予防、テープ類の正しい取り扱いと患者へ及ぼす影響を理解したうえで観察ができる	加賀谷奈緒子 （皮膚排泄ケア認定看護師） 渡辺誠也 （特定行為研修修了者）	4/21 (金) 13:00-17:00
フィジカルアセスメント入門（摂食・嚥下支援技術FU）/ ◎4A ○5B		看護基礎習得コース AA2307 「口から食べたいを叶える看護師の口腔ケア・摂食嚥下支援」	1.対象の口腔機能を観察し、口腔機能を維持管理するためのケアについて助言を得ながら実施できる 2.摂食嚥下のメカニズムが分かり、対象に合わせた食事介助が実施できる 3.（9/19FU研修後）研修で習得した知識を想起し、助言を得ながら対象の口腔機能をアセスメントした上で実施できる	各部署教育担当者 9/19: 佐藤千鶴子言語聴覚士	4/27 (木) 9:00-13:30 ※12:00-OJTで食事援助 9/19 (火) 16:00-17:00

令和5年度 看護部教育研修計画（新人看護職員等/ラダーレベルⅠをめざすもの）

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
プリセプターFU 研修	(92) (93) (94)	看護共育コース ALA2302 「困ったときにも役立つア サーションの実際」 看 護共育コース ALB2302 「これからのティーチン グ」 ALB2353 「はじめてのリフレクショ ン」 ALB2303 「これからのコーチング・ ファシリテーション」	4月・5月：ティーチングとコーチング 6月・7月：リフレクション 8月・9月：ファシリテーション 10月：事例検討 11月：事例検討 12月・1月：対応に配慮が必要な場合の支援 2月・3月：プリセプターマインド	プリセプター支援PJT、 今野千春 （新人看護職員研修運営委員 長）	4/27（木）15:00- 5/25（木）16:00- 6/29（木）16:00- 7/19（水）15:00- 8/23（水）16:00- 9/20（水）14:00- 10/18（水）14:00- 11/21（火）14:00- 12/21（木）16:00- 1/25（木）16:00- 2/22（木）16:00-
メンタルヘルス研修 /◎今野〇鈴木	(34)	院内全体研修コース： 社会人基礎力関連 CK2302 「医療職のためのメンタル ヘルス対策」	1.当院のメンタルヘルス対策が分かる 2.セルフケア、ラインケアが分かり、セルフケアの方法を見つけ実施で きる 3.困っている同僚に気づき、抱え込まない対応ができる	清水富士子看護副部長	4/28（金） 15:30～ 9/22（金） 16:00～

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護基礎研修/ ◎今野〇鈴木	(36)	看護基礎習得コース AA2311 「患者が見えるケアが伝わ る看護記録」	1.診療録における看護記録の持つ意味を理解し、助言を得ながら看護記 録ができる 2.看護実践と看護記録の関連が分かり、助言を得ながら適切に記録でき 3.受 け持ち患者の看護過程について助言を得ながら記録することができる	遠藤恵美子 （看護部記録委員長）	5/8（月） 13:30-16:00
医療安全対策FU / ◎6A 〇7B	(41) (42) ※レベルⅠ認定済 みのものは (85) (86)	院内全体研修コース： 医療安全関連 看護基礎習得コース AA2356 「転倒・転落予防のための アセスメントを知らう」 AA2303 「看護師が知っておきたい 薬物療法」	1.患者の療養環境を整えるための「医療安全対策」を実施できる 2.転倒転落アセスメントを行い、個別性のある看護計画立案・実施・評 価ができる 3.部署の転倒・転落のインシデント報告内容を自身で分析し行動を変化 することができる （10/5）と薬（内服）に関する医療安全基準、看護基準手順に基づい た技術が場面を問わず実践している	小松かおり（看護部医療安全 委員長） 佐藤恵理子（医療安全副委員 長） 10/5：各部署医療安全リン クナース	5/9（火） 13:30-15:15 10/5（木） 8:30-17:00
フィジカルアセスマ ントFU（認知症・ せん妄ケア） /◎4B 〇4A	(10) (11) (18) (19) (21) ※レベルⅠ認定済 みのものは (64) (66) (67) (68)	認知症・高齢者コース BD2301 BD2302 「現場で役立つ！認知症の アセスメントとケア」 BD2303 BD2304 「現場で役立つ！認知症の 方へのコミュニケーション・環境調整	1.認知症・せん妄ケアの基本的知識を復習し、パーソンセンタードケア の概念に基づく自らの看護実践に反映する 2. 各部署での取り組みを発表会を通して共有し、学びほぐしを行い自らの 看護実践に活かすことができる	木村麻由美 （認知症ケア認定看護師）	5/9（火） 15:30-17:00 8/30（水） 13:00-17:00 ※各部署PPTで発表
フィジカルアセスマ ント入門（バイタル サインとフィジカル イグザミネーション） /◎手 術室 〇救急外来	(6) (9) (10) (11) (25)	基礎修得コース AA2301 「そのバイタルサインは何 を示す？」	1.日常の看護実践に必要なバイタルサインやフィジカルイグザミネー ションから情報を得て、対象の病態生理や治療について助言を得なが ら統合して観察・ケアに活かすことができる 2.バイタルサイン、フィジカルイグザミネーションから、対象のニーズ に気づきケア看護師に報告できる	各部署教育担当者または プ リセプター	5/10（水） 9:30-15:30
フィジカルアセスマ ントFU（認知症・ せん妄ケア） /◎7HCU 〇6B	(10) (11) (18) (19) (21) ※レベルⅠ認定済 みのものは (64) (66) (67) (68)	認知症・高齢者コース BD2301 BD2302 「現場で役立つ！認知症の アセスメントとケア」 BD2303 BD2304 「現場で役立つ！認知症の 方へのコミュニケーション・環境調整	1.認知症・せん妄ケアの基本的知識を復習し、パーソンセンタードケア の概念が分かる 2.助言を得ながら不穏やADL低下を防ぐケアについて計画立案、実 践、評価ができる	木村麻由美 （認知症ケア認定看護師）	5/16（火） 10:00-12:30
地域看護（退院支 援）FU /◎5B 〇新生児	(37) (38) (39) (40)	多職種連携コース FA2305 「地域の健康を守る！保健 師との連携」	1.患者の退院後の生活を見据えた看護師としての関りを振り返る 2.地域で暮らすために必要な情報が分かる 3.患者が退院したその日から生活が営むための社会資源が分かる （事例） 4.医療保険、介護保険の仕組みが分かり患者の退院後の受診行動が予測 できる	鎌田幸子 （訪問看護認定看護師） 加藤光子 （退院調整看護師）	6/2（金） 15:00-16:30
ピアサポート メンタルヘルス	(34) (79)	院内全体研修コース： 社会人基礎力関連 CK2302 「医療職のためのメンタル ヘルス対策」	互いに成長を認め合い、同期同士の支援を構築できる（6/2） セルフケアを振り返り、こころの健康を保つための自己の取り組みを 再構築できる（9/28）	清水富士子看護副部長 公認心理師	6/2（金） 16:30-17:00 9/28（木） 15:30-17:00
フィジカルアセスマ ントFU（症状・生 体機能技術：採血・ 血糖測定・検体の取 り扱い・パニック値 の報告）/◎ICU 〇3HCU	(6) (18) (21) (22)	基礎修得コース AA2310 「患者の安全・安心・安楽 を守る採血のコツ」	1.静脈血採血手順を習得し検体の取り扱いと検査結果反映までの院内の システムが分かる 2.血糖測定の手順を習得し、低血糖・高血糖時の反応が分かり、ケア 看護師に報告し対応行動がとれる 3.観察に活かす検査値の見方を習得する 4.パニック値となった場合の報告を医師へ-SBARCで報告できる	各部署教育担当者または プリセプター	6/22（木） 10:00-15:00
注射の基本その1 （皮内、皮下、筋肉 内注射、採血） /◎産科 〇6B	(6) (25)	基礎修得コース AA2308 「これであなたも皮下注・ 筋注マスター！」	1.薬効、薬理作用を理解した上で、投与経路の違いに伴う薬物の作用副 作用を観察、実施、報告ができる 2. 解剖学に基づき、対象に合わせて安全な注射技術を行い、その後の合 併症の観察、記録、報告ができる	各部署教育担当者または プリセプター	7/20（木） 9:00-16:00
注射の基本その2 （静脈注射：留置 針、輸液ポンプ、シ リンジポンプの管 理） ◎5A 〇5B	(6) (25)	基礎修得コース AA2309 「これであなたも静注・静 脈留置針マスター！」	秋田赤十字病院看護部静脈注射教育計画に準じる ※静脈注射実施基準【レベル1】 【レベル2薬剤投与時の生食ロック・ヘパリンロックまで】 【レベル3末梢留置針の挿入まで】 ※看護師には緊急時の末梢からの血管確保が求められるため	各部署教育担当者	7/27（木） 9:00-16:00

令和5年度 看護部教育研修計画（新人看護職員等/ラダーレベルⅠをめざすもの）

研修名/担当者	赤十字施設ラダー 目指す状態	推奨する eラーニング	研修受講後の到達目標	講師	日時
看護過程研修	(6) ~ (26) (44) (45)	基礎修得コース AA2362 「優しい看護過程！」	1.対象に合わせた看護過程を助言を得ながら展開できる 2.ベア看護師の助言を得ながら、患者の反応や自分の行為を振り返り、課題に気づき、対処行動が取れる ※ 研修日1週間前までに受け持ち患者の関連図を教育担当者へ提出すること	各部署教育担当者/ 実地指導者	8/4 (金) 8:30-16:00 16:00-17:00 リフレクション 【OJT】
多重課題適応研修	(33) (34) (35) (37) (38)	基礎修得コース AA2363-1, AA2363-2 「ある新人看護師の完璧なる1日」 AA2359 「ナースコールにも慌てない！チームで多重課題に立ち向かえ」	1.担当患者数名の看護実践を遂行するための優先順位を助言を得ながら決定できる 2.多重課題解決シートを活用し、助言を得ながら業務の組み立てができる 3.複数の多重課題解決における自己の課題に誠実に取り組み、修正できる ※本研修への取り組みにより、日勤・夜勤の自立判断となる ※業務の自立判断は部署管理者が決定する	各部署教育担当者/ 実地指導者	9/6 (水) 10/6 (金) 11/7 (火) 8:30-16:00 16:00-17:00 リフレクション 【OJT】
フィジカルアセスメント演習(全身観察評価) /◎ 救急外来 O3HCUC7HCU	(6) (12) (14)		1.担当患者の「身体情報」を呼吸器系、循環系、栄養、消化系、感覚系、中枢神経系、運動系から助言を得ながら収集できる 2.担当患者の「普段と違う」気づきをベア看護師に報告し、助言を得ながら対処行動ができる	小笠原美奈 (急性・重症看護専門看護師/ 救急看護認定看護師)	9/15 (金) 9:00-15:30
看取りのケア /◎7B O産科	(11) (14) (17)	※学研ナースメソッド 「死亡時のケア」は研修時に視聴	1.患者がご逝去された場合のケアをベア看護師と協働できる 2.ご遺族の気持ちを推し量り、看護職としての対応をベア看護師から習得できる ※学研ビジュアルナースメソッド「死亡時のケア」に基づき、部署の特徴を捉えた演習	各部署教育担当者	9/15 (金) 15:45-17:00 【OJTでも可】
急変時の対応演習 (正常な心電図波形と危険な波形) (急変時の初動対応) /◎ 救急外来 OICU O手術室	(12) (14)	※看護シミュレーションを研修開始時にデモンストレーションとして視聴	1.急変とは何かが説明できる 2.急変を見逃さないための観察のポイントが説明できる 3.急変時の心構えと先輩看護師との情報共有のポイントが説明できる 4.担当患者が「普段の様子と違う」ことに気づいた場合の初動対応が実施できる	白鳥高広 (看護部迅速対応チーム)	9/22 (金) 8:30-15:45
感染対策FU(感染経路別予防策) /◎ 新生児 O4A	(41)	院内全体研修コース：感染対策関連 CB2302 「学びなおしの標準予防策」	1.当院の院内感染の基本ルールが分かり、標準予防策を実施することができる 2.手指衛生の5つのタイミングを習得し、臨床実践場面でタイミング行動ができる 3.標準予防策に追加した「感染経路別対策」を習得し、ポケットブックを参照しながら実践できる	福田恵 (看護部感染対策委員長/ 感染管理認定看護師)	10/3 (火) 13:30-15:00 (ZOOM) 部署で受講
グローバルヘルス入門/◎ 今野○鈴木	(50) (51) (52) ※ラダーレベルⅠ認定済みの者は (96) (97) (98)		1.国内外の保健、医療、看護、福祉の動向について知ることができる 2.秋田県の住民に起こっている健康問題について自分の考えを述べることができる	今野千春 (新人看護職員研修運営委員長)	10/12 (木) 13:30-15:00
排泄援助技術演習 (浣腸・排便、尿道留置カテーテル) /◎ 3HCU O4B	(18) (19) (20) (21) (22)	当院医療安全研修会資料	1.医療安全基準、看護基準・手順に基づいた正しい手技を獲得し、助言を得ながら実践できる 2.尿道損傷の発生機序が分かり、説明できる 3.直腸粘膜損傷の発生機序が分かり、説明できる 4.患者へ侵襲のある技術を提供する場合の判断を述べるができる	各部署教育担当者/ 実地指導者	10/13 (金) 8:30-15:00
地域看護 (退院支援) /◎ 5B O新生児 ※NEW	(37) (38) (39) (40)	多職種連携コース FA2305 「地域の健康を守る！保健師との連携」	1.患者の退院後の生活を見据えた看護師としての関りを振り返る 2.地域で暮らすために必要な情報が分かる 3.患者が退院したその日から生活が営むための社会資源が分かる(事例) 4.医療保険、介護保険の仕組みが分かり患者の退院後の受診行動が予測できる	鎌田幸子 (訪問看護認定看護師) 加藤光子 (退院調整看護師)	10/19 (金) 15:00-16:30
看護倫理FU/◎ 今野○鈴木	(15) (16) (19) (20)	「若葉と読む赤十字基本原則」(図書室)	1.赤十字基本原則を理解し、優先順位を判断する際に活用することができる 2.「看護者の倫理綱領：日本看護協会」の実践が赤十字原則に繋がること臨床現場で気づくことができる 3.臨床現場での倫理上の問題に気づき、カンファレンスに提示することができる	佐藤麻美 (看護部倫理委員長)	10/26 (木) 14:30-16:00
看護職としてのキャリア /◎ 今野 O鈴木	(43) (44) (45)	基礎修得コース AA2312 「未来の『わたし』をイメージしよう」	1.赤十字施設ラダースystemを想起し、自身の目標を立案できる 2.3段階法による「看護観」概念化し、進みたい道を思い描くことができる 3.1年後、5年後、10年後の目標を立て、そこまでに必要な項目を列挙できる	堀井裕美 (看護部教育委員長)	11/8 (水) 13:30-16:00
正しいVME機器の取り扱いとトラブルシューティング (人工呼吸器、ASV、NIHF) /◎ ICU O新生児	(6) (9) (10) (11) (26) ※レベルⅠ認定済みのものは (59) (63)	看護基礎習得コース AA2306 「明日からケアも怖くない！人工呼吸器ベーシック」	1.正しい機器類の取り扱いを習得し、OJTで担当患者の看護実践に活かすことができる 2.機器類の作動状況を管理し、異常発見時の対応がOJTでできる	松田光喜 (機器管理課長) 臨床工学技士	R6.2/15 (木) 13:30-16:00
静脈注射レベル3予習研修 /◎ 6B O6A			秋田赤十字病院看護部静脈注射教育計画に準じる 1.輸血療法が必要な場合の手順が説明できる 2.劇毒物の取り扱い方法が説明できる 3.麻薬の取り扱いが説明できる ※本研修受講し、翌年度静脈注射レベル3研修受講が必須	各部署教育担当者	R6.3/6 (水) 8:30-15:00
看護の振り返り研修 【ナラティブ発表準備】 必須			1年間の看護観を概念化し、2年目の自分の目標を設定できる	今野千春(看護部)	R6.3/6 (水) 15:15-17:00
部署別学習会への参加			部署に代表的な疾患、病態生理、看護の特徴は必須(講師はレベルⅡ以上) 部署における退院支援(社会的資源)に関わる学習会は必須(講師はMSW等)		

令和5年度(2023) レベル別教育プログラム 【レベルⅡ対象】

研修名	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
フィジカルアセスメントⅡ 「身体症状・兆候から看護を展開しよう～基礎編～」 (ICU)(3HCU)	中堅コース AB2301 「チームで取り組む急変～中堅看護師のあなたがめざすステップアップ～」 AB2351 「フィジカルアセスメントの戦略～どう展開にどうしあげるか～」	(59)(60) (62)(65) (69)	1. 身体症状・兆候のOデータと患者のSデータを適切に収集し、患者に何が起きているのかを把握して、多角的なアセスメント、変化の予測ができる 2. アセスメントしたことを医療チームの一人として看護実践に反映し、評価できる 3. 急変時、医師の到着までに与えられた役割について理解できる	急性・重症患者 看護専門看護師 迅速対応チーム	7月7日(金) 13:30～14:30
看護倫理Ⅱ 「倫理的感受性～倫理的ジレンマに気づく自分になろう～」 (5A)(5B)	認知症・高齢者コース BD2354 「認知症患者の日常ケアで生じる倫理的問題」 院内全体コース 倫理関連 CD2303 「多職種で最善のケアを考える～緩和ケアでの倫理的配慮から考える～」	(60)(61) (67)(68) (71)	1. 看護倫理の概要を学び、倫理問題を客観的に理解できる 2. 部署での倫理的問題に気づき行動できる 3. 自部署の倫理検討会で事例の倫理的問題について看護者の倫理綱領や赤十字の基本原則に照らし合わせて考えることができる	看護部倫理委員会 委員長	6月6日(火) 13:30～14:30
メンバーシップ (NEW) 「信頼されるメンバーの一員になろう」 (6A)(7B)	看護共育コース ALA2352 「メンバーシップ・フォローアップ～みんなで作る働きやすいチーム～」 院内全体研修コース CK2303 「医療職として働くときのチームワークのあり方」 CK2304 「医療職が育む社会人基礎力の必要性」	(76)(78) (81)(82)	1. 日常の看護実践においてチームで協働することができる 2. チームで協働するために必要なコミュニケーションの方法を理解し実践できる 3. チームで協働する上で必要な情報や意見を適切に伝えることができる 4. 受け持ち看護師の役割を理解し行動できる	<STEP①> 業務委員長 <STEP②> 各部署 レベル3以上の スタッフ	8月16日(水) 13:30～14:30 業務委員会より 別途案内あり
医療安全Ⅱ (NEW) <STEP①> 「覚えよう、インシデントの分析方法」 <STEP②> 「事例分析～明日から実践できる対策を考えよう」 (4B)(6B)	院内全体研修コース CA2301 「基礎から学ぶ！医療安全」 CA2303 「チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全」	(85)(86)	1. 自部署に起こりやすいインシデントを知る 2. インシデントレポートの分析方法を知り実践できる 3. インシデントの分析から、自己の行動変容につなげることができる	看護部 医療安全委員会 委員長 看護部 医療安全委員会 看護係長	7月21日(金) 13:30～14:30 10月20日(金) 13:30～14:30
スタッフ教育Ⅱ (NEW) 「リフレクションで共に成長しよう」 (6A)(7B)	看護共育コース ALB2353 「はじめてのリフレクション～実践を新たなケアにつなげる～」 ALA2301 「みんなが笑顔になれるアサーションの基本～看護師として働く前に知っておきたいこと～」 ALA2302 「困ったときにも役立つアサーションの実践～多職種・患者・家族との円滑なコミュニケーションをめざす～」	(75)(92) (93)(94)	1. リフレクションについて理解する 2. 他者に受容的・共感的態度で接することができる 3. 関わった後の後輩の成長に関心を寄せリフレクションができる 4. リフレクションを重ねながら共に成長することができる	教育委員長/ 各部署教育委員	8月8日(火) 13:30～14:30
グローバルヘルスⅡ (NEW) 「看護の対象が暮らす地域や社会に目を向けよう」 (産科)	看護のプロフェッショナルコース GT2201 「看護の対象はすべての人～色々な人を支えたい～」 GT2251 「50年の看護経験から語られる看護のプロフェッショナルとは」	(96)(97) (98)	1. 国内外の保健・医療・福祉の動向から、最新の健康問題が分かる 2. 地域アセスメント(①地域特性②社会資源③地域ニーズ)能力を高め、看護の対象を個人から集団に広げ考えることができる。 3. 国内における最新の健康問題が分かる	赤十字科目Ⅱ修了者 看護師長 堀井 裕美	9月12日(火) 13:30～14:30

令和5年度(2023) レベル別教育プログラム 【レベルⅢ対象】

研修名	推奨するeラーニング	赤十字施設の 看護師の看護 実践能力の指 標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
フィジカルアセスメントⅢ Ⅲ-A「(対象の生活を支えるために)身体症状・兆候から看護を展開しよう～指導編～」 (ICU)(3HCU)	中堅コース AB2301 「チームで取り組む急変～中堅看護師のあなたがめざすステップアップ～」 AB2351 「フィジカルアセスメントの戦略～どう展開にどうしあげるか～」	(110) (111) (112) (115) (119)	1. 身体症状・兆候のOデータと患者のSデータを適切に収集し、患者に何が起きているのかを把握して、多角的なアセスメント、変化の予測ができる 2. アセスメントしたことを医療チームの一人として看護実践に反映し、評価・指導ができる 3. 周囲の状況が変化の中で、リーダーに求められる役割は何かを理解する	急性・重症患者 看護専門看護師 迅速対応チーム	6月6日(火) 17:15～18:15
フィジカルアセスメントⅢ (NEW) Ⅲ-B「摂食・嚥下編～摂食・嚥下機能を適切にアセスメントをし、誤嚥を予防しよう」 (ICU)(3HCU)	認知症・高齢者コース BD2355 「高齢者をサルコペニア・フレイルにさせないために」		1. 対象の口腔機能・嚥下機能をアセスメントし、その結果に基づいてケアの方法を選択し、指導できる 2. 誤嚥をしない食事介助方法を習得し、指導できる	言語聴覚療法士 佐藤千寿子	5月17日(水) 15:00～16:00 講師の都合
看護倫理Ⅲ 「倫理的意思決定を支援する」 (5A)(5B)	院内全体コース 倫理関連 CD2301 「臨床倫理入門」 CD2302 「臨床倫理 事例検討法」 CD2303 「多職種で最善のケアを考える～緩和ケアでの倫理的配慮から考える～」	(106)(114) (116)(117) (118)(141)	1. 看護倫理の概要や考え方を理解し、今までの疑問や倫理的問題に気づき客観的に分析できる 2. 分析モデルについて知る 3. 分析モデルを活用し、カンファレンスの進め方や意思決定支援のプロセスを学ぶ 4. 臨床の倫理問題を明確化し解決方法を見出すことができる	看護部倫理委員会 委員長	8月8日(火) 17:15～18:45 (90分)
リーダーシップ (NEW) 「同僚の力をかりながら部署の問題を解決しよう」 (教外)(4A)	看護共有コース ALA2351 「プリセプターマインド～後輩とともに成長するための心構え～」 看護管理コース AC2301 「今日からリーダー！スタッフを巻き込むマネジメント術」	(123)(124) (125)(126) (129)(131)	1. リーダーに求められる能力について理解できる 2. 自部署の状況から課題を見出し、問題解決方法を考えることができる 3. 課題の解決のために自部署の同僚に協力を求め実践することができる 4. 部署の管理者(看護係長)とのOJTを通して自己のリーダーシップについて考え行動する事ができる	業務委員長	①研修 7月7日(金) 17:15～18:15 ②係長OJT ③実践報告会 11月6日(月) 17:15～18:15
医療安全Ⅲ <STEP③> 「チームで取り組む医療安全」 (4B)(6B)	院内全体研修コース CA2301 「基礎から学ぶ！医療安全」 CA2303 「チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全」 CA2304 「患者参加で実現する医療安全」	(136)(139)	1. 自部署の特殊性や状況から起こりうる事故を予測できる 2. 予測される事故の予防のため対策を立案できる 3. インシデントレポートの分析結果に基づいて、自部署の業務改善に向けて行動できる	看護部 医療安全委員会 委員長	9月12日(火) 17:15～18:15
スタッフ教育Ⅲ (NEW) 「後輩育成のスキルを身につけよう」 (OP)(産科)	看護共有コース ALB2302 「これからのティーチング～いまどき学習者の伸ばし方～」 ALB2303 「これからのコーチング・ファシリテーション～基礎から実践のコツまで～」 ALB2304 「こんなときどうする？『発達障害』にまつわる指導のヒント」	(154)(146) (147)(148) (149)	1. 看護の現場におけるOJTのあり方を理解する 2. 後輩指導に関する自己の傾向に気づくことができる 3. OJTを実施する上での自己の課題を明らかにする 4. 後輩の成長に必要な機会や資源について考えることができる 5. OJTを継続するために周囲に相談し協力を求めることができる	教育委員長／ 各部署教育委員・ レベルⅢ以上のスタッフ	9月21日(木) 17:15～18:15
グローバルヘルスⅢ(NEW) 「地域特性を捉えた看護を実践しよう」 (7HCU)	看護のプロフェッショナルコース GT2201 「看護の対象はすべての人～色々な人を支えたい～」 GT2251 「50年の看護経験から語られる看護のプロフェッショナルとは」	(154)(155) (156)(157)	1. グローバル化に伴う地域の健康問題が分かり、看護の課題を述べることができる 2. 看護の課題を部署の管理者と共有し準備ができる	看護副部長 清水 富士子	10月6日(金) 17:15～18:15

令和5年度(2023) レベル別教育プログラム 【全看護師対象】

研修名／受講要件	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
静脈注射研修レベル3/ ①ラダーレベルⅠ取得済みのもので、自己の能力を超えると判断した場合、自ら助言を得ることができるもの ②今年度中にラダーレベルⅡの取得を目指しているもの ③JNAラダーレベルⅡ取得済みのもの ④過去に受けたが学び直しを希望するもの (新生児)(5B)(6A)(7B)			静脈注射の基準に準ずる	教育委員係長 がん化学療法認定看護師(藤原朋未・高橋一美)	7月4日(火) 10月2日(月) 1月18日(木) いずれも 9:00~16:00 いずれか1回に参加 1回20名程度
静脈注射レベル4/ ①ラダーレベルⅢ取得済みのもの ②JNAラダーレベルⅢ取得済みのもの ③過去に受けたが学び直しを希望するもの (新生児)(5B)(6A)(7B)			静脈注射の基準に準ずる	がん化学療法認定看護師(藤原朋未・高橋一美) 医師・武藤理	詳細未定 後日案内あり (仮)9月4日PM
感染管理	院内全体研修コース 感染対策 CB2301 「学びなおしの標準予防策(スタンダードプリコーション)」 CB2302 「感染経路別予防策をおさらい〜『もしも』に備えるアウトブレイク対策」	(41)(85) (135)(136)	1. 標準予防策や廃棄物の適切な処理について理解し実施できる 2. 手指衛生5つの瞬間に基づく実践ができる 3. 感染経路別の予防対策が実践できる	各部署 看護部 感染防止委員	* 感染防止委員より別途案内
スキンテアの予防 (4A)(外来)			1. スキンテアについて理解を深め、褥瘡予防対策・スキンテア予防対策を実践できる 2. スキンテアの初動対応ができる	各部署: スキンケアナース/特定行為研修(創傷管理関連)修了者: 渡邊誠也・藤原文子/皮膚排泄ケア認定看護師: 加賀谷奈緒子	5月15日(月) 11月7日(火) いずれも 17:15~18:15 いずれか1回に参加
メンタルヘルスケア① 「セルフマネジメントを実践しよう!」 (新生児)	院内全体研修コース CK2302 「医療職のためのメンタルヘルス対策」 看護共育コース ALA2353 「頑張っているあなたに知ってほしいセルフコンパッションのすすめ」	(79)	1. 自己のセルフマネジメントについて考え、行動できる 2. 看護部のメンタルヘルスケア体制について理解できる	看護部副部長 清水富士子	7月21日(金) 17:15~18:15
メンタルヘルスケア② 「ラインケアを実践しよう!」 ①レベルⅢ以上のもの (新生児)	院内全体研修コース CK2302 「医療職のためのメンタルヘルス対策」	(126)	1. 自己及びチームメンバーの健康管理に気遣い、支援することができる 2. 看護部のメンタルヘルスケア体制について理解できる	看護部副部長 清水富士子	9月21日(木) 17:15~18:15
看護を語る会 * ファシリテーター役を決めて開催し、語り手の経験値を引き出しながら語り手・聞き手ともに学ぶ * 語り手: 看護経験15年以上(自薦・他薦可)看護観はA4用紙2枚にまとめる。アクションシート共に提出。 * 聞き手もアクションシート提出。			語り手: 1. 自己の看護の振り返りから、自己の看護観(大切にしている看護)に影響を与えた出来事対象とのかわりを他者に語ることができる 聞き手: 1. 他者の語りから様々な価値観・看護観を知る 2. 語りを聞き感じたことや考えたことを伝えることができる 3. 自己の看護実践の反省に役立てることができる	各部署 部署学習計画に入れて実施 1回30分 (発表10分程度)	各部署で11月までに終了するように計画して実施 (実施後アクションシート提出、発表者の看護観も一緒に提出)
越境学習 ①レベルⅡ以上のもの * 部署の目標管理面接時に師長に相談。自己の課題と目標をシートに記入した上で訪問学習先を調整 * アクションシートは越境学習先の担当者、自部署師長から確認を受けてから、教育委員に提出			1. 部署目標達成のために自発的に課題に取り組むことができる 2. 越境学習後学びをリフレクションできる 3. 他部署での学びを自己の看護実践や業務改善に課することができる	該当部署の 看護師長・ 係長・教育委員 トップリダー	越境学習先の 部署と自部署の 師長同士で 日時決定
「RRSトレーニング」			1. フィジカルアセスメント、急変時対応の実際が習得できる	迅速対応チーム インストラクター	別途案内
「BLS」			1. BLSの知識と技術を身につけることができる	BLS インストラクター	別途案内
看護研究オリエンテーション 研修 看護研究発表を予定している看護研究班あるいは個人	看護研究コース 初めての院内発表 BBH2301~2306 初めての学会発表 BBS2301~2316	(90)(91) (142)(143) (144)	1. 看護研究の必要性を理解できる 2. 看護計画書作成までの準備が理解できる 3. 看護研究の進め方が理解できる 4. 当院看護部の看護研究支援体制を理解し、支援を受けながら取り組むことができる 5. 看護研究をまとめ、発表することができる	看護部看護研究倫理委員会	別途案内

院内認定コース

研修名／受講要件	推奨するeラーニング	赤十字師範の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時(講義開催日)
スキンケアナース *研修要綱別途案内			1.褥瘡に関連した(医療関連機器圧迫創傷・スキンケア・失禁関連皮膚障害を含む)予防的ケアと治療的ケアの知識と技術を習得できる 2.部署内において、主体的にケアの実践・指導・スタッフ教育ができる	皮膚排泄ケア認定看護師:加賀谷奈緒子 ／看護師特定行為研修(創傷管理関連)修了者:渡邊誠也・藤原文子	6月12日(月) 13:30~16:00 7月3日(月) 13:30~17:00 8月4日(金) 13:00~16:00 8月23日(水) 16:00~17:00
ストーマケアナース *研修要綱別途案内			1.ストーマケアの基本的知識と技術を取得できる 2.ストーマ造設患者に対し術前準備ができる(ストーマサイトマーキングを含む) 3.適切なストーマ装具が選択できる 4.部署内において、主体的にケアの実践と指導・スタッフ教育ができる	皮膚排泄ケア認定看護師:加賀谷奈緒子 ／看護師特定行為研修(創傷管理関連)修了者:渡邊誠也・藤原文子	9月5日(火) 13:00~17:00 10月3日(火) 13:00~17:00 10月18日(水) 16:00~17:00

令和5年度(2023) レベル別教育プログラム 【管理者対象】

【看護係長対象】

研修名	指定のeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
昇任看護係長研修 (必須)R5年度昇任係長			1. 看護係長の職務について理解する 2. 1年間のマネジメント経験から、次年度に向けて看護係長としての自己の課題を明らかにする	看護部	4月14日(金) 9:00~14:30 研修計画書は別途配付
＜ STEP 1 対象は、新任看護係長全員 必須 ＞					
STEP1-A	看護研究コース BBH2302 「文章の書き方」	(35)	1. 人に伝える文書を意識できる 2. 文章の基本が理解できる 3. 発表の項目に必要な内容がわかる	eラーニング	5月1日まで
STEP1-B ＊視聴後テスト実施	院内全体研修コース 社会人基礎力関連 CK2301 「医療者が知っておくべき個人情報 の適切な取り扱い方」	(22)(35) (49)(50)	1. 個人情報保護法の基本が理解できる 2. 個人情報の取り扱いや留意点がわかる	eラーニング 事後課題	当該年度の管理者 OJT終了前まで
STEP1-C	院内全体研修コース 非常時対応関連 CH2301 「重大な事件、事故発生時に備え た医療体制のあり方」	(33)(36) (37)	1. 重大な事件・事故発生による医療体制への影響について説明できる 2. 重大な事件・事故発生に医療職が備えるべきことがわかる 3. 重大な事件・事故発生時に医療職が対応するべきことがわかる	eラーニング	
看護係長フォローアップ研修 STEP1				看護部	後日看護部より 別途案内
＜ STEP 2 対象は、令和4年度の昇任看護係長全員 必須 ＞					
STEP2-A	院内全体研修コース 病院経営・マネジメントコース FC2301 「社会・医療環境の変化にも負けない病院経営の考え方～地域連携・多職種連携の実際～」	(12)(14) (23)(24)	1. 変化する社会・医療環境のなかで事務部門が押さえておくべきポイントを説明できる 2. 地域連携の実際を知り、自施設での連携のあり方についてイメージできる 3. 地域包括ケアシステム・地域連携における事務部門の役割と実際がわかる 4. 多職種連携の具体例を知り、自施設でも活かせるポイントについてイメージできる	eラーニング	当該年度の管理者 OJT終了前まで
STEP2-B ＊視聴後テスト実施	看護管理コース AC2353 「管理者からみるスタッフのメンタルケア」	(39)(47) (48)(49) (50)(51) (52)(53) (54)(55) (56)(57) (58)(59) (60)(61)	1. 組織におけるメンタルケアの重要性を理解できる 2. 職員の不調のサインを見逃さないためのチェックポイントが理解できる 3. 職場環境を良好に保つために自分自身のメンタルヘルスに目を向けることができる	eラーニング 事後課題	
看護係長フォローアップ研修 STEP2				看護部	後日看護部より 別途案内
＜ STEP 3 対象は、令和3年度の昇任看護係長全員 必須 / 看護係長経験3年以上 任意 ＞					
STEP3-A	院内全体研修コース 倫理関連 CD2301 「臨床倫理入門」	(22)(23) (24)(25) (26)(27) (34)	1. 臨床における倫理的な姿勢と行動の関係を理解することができる 2. 倫理原則の意味を理解することができる 3. 臨床において倫理的に行動することができる 4. 適切な意思決定支援の基礎を理解することができる	eラーニング	当該年度の管理者 OJT終了前まで
STEP3-B	院内全体研修コース 医療安全関連 CA9999 「動画で実践！みんなで取り組む KYT！～KYT事例動画アーカイブ～」	(33)(35) (36)(37)	1. 事例から学びリスク感性を高める 2. 事例で自分自身や部署のKYTについて振り返り自部署の対策や教育に活かす		
＜ STEP 4 対象は、看護係長経験4年以上 任意 ＞					
STEP4-A	看護管理コース AC2304 「地域と患者を守る病床管理のためのマネジメント術」	(12)(14) (23)(24)	1. 地域における自施設の役割について振り返り、病床管理の重要性を理解できる 2. 効果的な病床管理が患者のQOLに及ぼす影響を理解できる 3. ベッドコントロールの観点をとって、経営的な視点を持ち、看護の経営参画という目標に沿って自部署運営に参画できる 4. 事例をとって自部署における病床管理について考えることができる	eラーニング	当該年度の 管理者OJT終了前 まで
看護係長フォローアップ研修 STEP3以上 対象:STEP3以上の看護係長 全員 (必須)				看護部	後日看護部より 別途案内
看護係長研修 「看護管理過程を振り返る (仮)」		(10)～(24)	1. 係長としての役割遂行のためにPDPを参考にする 2. 係長同士の交流や意見交換から問題解決の糸口を見出す 3. 部署の問題解決に取り組むことができる 4. 目標達成の成果を得る	看護部	後日看護部より 別途案内
メンタルヘルス研修		(39) (47)～(61)	1. ラインケアについて理解できる 2. 当院のラインケア、復職支援について理解できる 3. メンタルヘルスについて係長間で共有する	看護部 メンタルサポート チーム	後日看護部より 別途案内

【看護師長対象】

研修名	指定のeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
昇任看護師長研修 (必須)R5年度昇任師長			1.看護師長の職務について理解する 2.1年間のマネジメント経験から、次年度に向けて看護師長としての自己の課題を明らかにする	看護管理者	4月11日(火) 14:00~17:00 研修計画書は別途配付
STEP1 *視聴後テスト実施	看護管理コース AC2353 「管理者から見るスタッフのメンタルケア」	(108)(117) (119)(120) (123)~ (130)	1.組織におけるメンタルケアの重要性を理解できる 2.職員の不調のサインを見逃さないためのチェックポイントが理解できる 3.職場環境を良好に保つために自分自身のメンタルヘルスに目を向けることができる	eラーニング 事後課題	5/1まで
STEP2 *視聴後、自部署の病棟会議やリーダー会で係長・スタッフと医療安全管理に関するディスカッションを行い、議事録に記録する	院内全体研修コース 非常時対応関連 CH2301 「重大な事件、事故発生時に備えた医療体制のあり方」	(92)(95) (104)(105) (106)(107) (119)	1.重大な事件・事故発生などによる医療体制への影響について説明できる 2.重大な事件・事故発生に医療職が備えるべきことがわかる 3.重大な事件・事故発生時に医療職が対応するべきことがわかる		9/1まで
STEP3 *視聴後、自部署の病棟会議やリーダー会で係長・スタッフと臨床倫理に関するディスカッションを行い、議事録に記録する	院内全体コース 倫理関連 CD2301 「臨床倫理入門」	(62)(88) (92)(93) (94)(95) (103)(104) (123)	1.臨床における倫理的な姿勢と行動の関係を理解できる 2.倫理原則の意味を理解することができる 3.臨床において倫理的に行動することができる 4.適切な意思決定支援の基礎を理解することができる		1/31まで
新任師長フォローアップ研修 対象:R5年度新任看護師長(必須)	本研修前に、上記のSTEP1~3を受講			看護部	後日看護部より別途案内
管理過程領域	看護管理コース AC2304 「地域と患者を守る病床管理のためのマネジメント術」	(75)(76) (77)(78) (79)(89) (90)(91)	1.地域における自施設の役割について振り返り、病床管理の重要性を理解し、スタッフや他職種に説明できる 2.効果的な病床管理が患者のQOLに及ぼす影響について理解し、スタッフや他職種に説明できる 3.ベッドコントロールの観点をとおして、経営的な視点をもち、看護の経営参画という目標に沿って自部署を運営できる 4.事例をとおして自施設における病床管理について考え行動する	eラーニング	5/1まで
人材育成領域	看護管理コース AC2305 「中間目標を最大限に活かす目標管理~年間目標を見据えた評価と人材管理」	(72)(73) (74)(108) ~(116)	1.目標管理における中間評価の意義と目的が説明できる 2.中間の目標管理面接においてスタッフのモチベーションを高める工夫が考えられる 3.年間目標の達成のために中間評価を活かすことができる		
質保証領域 *視聴後、各部署での実践と評価は師長会グループワーク等で発表	基礎習得コース AA2362 「事例で学ぶ!やさしい看護過程」	(98)(109) (114)(131)	1.看護過程の概念と活用の意義について理解し、明日から業務に反映できるようスタッフへ指導できる 2.標準看護計画を活用した個別的な看護過程とそのプロセスをスタッフに指導・説明できる 3.事例をもとに学んだ看護展開方法をスタッフに指導できる 4.本研修での知識を活かして、自部署の看護過程や看護記録を振り返り、改善策を見出し実践できる	eラーニング 事後課題	動画視聴: 6/1まで 実践・評価: 3/1まで
看護師長フォローアップ研修 対象:看護師長全員(必須)				看護部	後日看護部より別途案内
看護管理過程領域	MC看護管理			看護部	後日看護部より別途案内
メンタルヘルス研修 対象:看護師長全員(必須)		(108)(117) (119)(120) (123)~(130)	1.ラインケアについて理解できる 2.当院のラインケア、復職支援について理解できる 3.メンタルヘルスについて師長間で共有する	看護部 メンタルサポート チーム	後日看護部より別途案内

【看護師長・看護係長 共通研修】 (注)管理者ラダー取得予定者は、開催時にはいずれかに参加すること

研修名	指定のeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
看護管理者研修報告会		全指標	今年度の赤十字看護管理者研修、秋田県看護協会認定看護管理者研修ファーストレベル、セカンドレベル研修参加者の学びを共有し、看護実践や看護管理に活かす	赤十字看護管理者研修、赤十字科目研修、秋田県看護協会認定看護管理者研修修了者	担当:看護部 別途案内
看護管理実践報告会 ファーストレベル:看護係長 セカンドレベル: 看護師長以上			*前年度の看護管理者研修受講者の管理課題の取り組みと成果を共有する (注)対象となる研修は、赤十字Ⅰ~Ⅱ、秋田県看護協会Ⅰ~Ⅱ、東北ブロック赤十字医療施設師長・係長交流研修、をいう	ファーストレベル 三浦則子 小山めぐみ 森元彩華 加藤ひろみ セカンドレベル 今野千春 福田恵 佐藤麻美	

【看護師長・看護係長 共通研修】 (注)管理者ラダー取得予定者は、開催時にはいずれかに参加すること

【災害看護管理研修:赤十字領域】

研修名／受講要件	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
災害時の部署管理と人材育成 「大規模地震発生時の初動対応」 看護師長・看護係長(新任係長は任意)	事後課題:研修後、レベル3「災害時の部署管理」を自部署で実施すること(9～10月)	レベルⅠ (1)～(9) レベルⅡ (62)～(71)	1.休日・の大地震発生時の初動対応について理解する 2.各部署のBCPに基づく初動について理解し、部署のリーダーナースに指導できる 3.診療の継続、各部門機能の維持のために必要な対応や連携について理解する 4.各部署での課題に気づき、解決や改善に向けて取り組むことができる	災害対策チーム看護師長・今野千春	8月25日(木) 13:30～15:00

【救護員としての赤十字看護師長研修(別項参照)】

研修名／受講要件	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
「災害と看護管理」 (PTTあり) (注)看護師長・係長は「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修1・2」の受講希望者に、各部署で講義する		レベルⅠ (1)～(9) レベルⅡ (62)～(71)	別頁「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修」の計画に合わせて、部署での教育計画を立案・実践する (複数回に分けて開催するなどの工夫可)	部署の看護師長・係長	「救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修」の計画に合わせて、部署で実施

令和5年度(2023) レベル別教育プログラム 【リソースナース・レベルⅣ以上の看護職員対象】

研修名／受講要件	推奨するeラーニング	赤十字施設の看護師の看護実践能力の指標	研修受講後の到達目標	講師(担当部署)	日時
リソースナース レベル4以上の看護職員	多職種連携コース FA2351 もう一度振り返ろう！ チーム医療の基本 リソースナースは各自の活動報告書で学びを活かした実践を記載する。活動報告書はリソースナースの会担当副部長へ提出する。 レベル4以上の方は②を看護部で確認したら修了	(123)～ (134)	1.チーム医療がなぜ必要なのか理解できる 2.患者を中心としたチーム医療の構築を目指すことができる 3.チーム医療におけるコミュニケーションの重要性を理解し、実践できる	eラーニング	12/1まで
	多職種連携コース FA2301 チーム医療の極意 ～専門職がもちたいリーダーシップの考え方～		1.チーム医療における看護師の信念対立について説明できる 2.それぞれの職種に求められる役割について説明できる 3.自身の職種において求められる役割を知り、自部署で実践できる		12/1まで

令和5年度 救護員としての赤十字看護師研修計画

看護部

分野	研修名/対象者	研修目標	講師	日時
救護員としての赤十字看護師研修	救護員としての赤十字看護師研修（講義） 対象： ①赤十字施設キャリア開発ラダーレベルⅠ取得のもので今年度中にレベルⅡを目指すもの ②日看協ラダーレベルⅡ以上取得し、レベル別プログラム「赤十字」「グローバルヘルス」を受講済みのもの	1.赤十字の看護師養成の歴史が分かる 2. 救護員としての赤十字看護師に求められる役割が分かる 3.災害医療の特徴が分かり、災害サイクルに応じた知識と技術が習得できる 4.救護員としての心構えができる	・小棚木均（院長） ・藤田康雄 （救命救急センター長/日赤災害医療統括コーディネーター） ・平尾孔 （日赤秋田県支部） 菊地雄大 （日赤秋田県支部） ・丸山真理子 （公認心理師/こころのケア指導者） ・今野千春	※別添プログラム参照 6月7日（水） 10：00-17：00 6月8日（木） 10：00-15：30 6月9日（金） 14：00-17：00
	演習 対象：上記の講義を全て受講したものの		・DMAT隊員 （業務調整員登録者） ・日本赤十字救急法講習指導員 ・今野千春	※別添プログラム参照 6月14日（水） 9：00-17：00 6月15日（木） 9：00-17：00 6月16日（金） 9：00-17：00
	FUNo.1. 日本赤十字社看護部の救護員としての赤十字看護師育成に関する取り組み 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和5年度常時救護班登録者でブラッシュアップしたい方	* 赤十字の看護師養成の歴史について理解する * 救護員養成の法的根拠について理解する * 救護員育成体系について理解する * 赤十字施設のキャリア開発ラダーとの関連を確認する	各部署係長（NEW）	7月-8月に部署内で計画的に進める
	FUNo.2日本における災害対策および日本赤十字社の災害救護活動～協働の時代に向けて～（90分） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和5年度常時救護班登録者でブラッシュアップしたい方	* 災害の定義、分類、近年の災害発生傾向等について理解する * 日本赤十字社が行う災害救護活動の法的根拠、国の防災対策との関連について理解する * 日本赤十字社の災害救護体制とリソースについて理解する * 日本赤十字社を取り巻く災害救護活動の現状、今後の取り組みについて理解する	各部署師長	1. の研修受講後 の7月-8月に部署内で計画的に進める （数回に分けて開催するなど工夫可）
	FUNo.3. 災害サイクルに応じた看護活動（講義60分＋ディスカッション30分程度） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの	* 災害サイクルに応じた災害救護活動を理解する ①超急性期の活動でのそれぞれの場所での活動の目的目標を理 ②災害サイクル各期における避難所や仮設住宅での生活支援について理解する	鈴木理江 （救護班師長登録者） 成田ますみ （DMAT看護師/救護班看護師） 今野千春	8月10日（木） 17：00-

令和5年度 救護員としての赤十字看護師研修計画

救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修

②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和5年度常時救護班登録者でブラッシュアップしたい方	③静穏期の減災対策（国の減災対策・病院等施設の減災対策）を理解する		
FUNo.4. 災害時における感染制御について（講義70分+GW20分） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和5年度常時救護班登録者でブラッシュアップしたい方	* 災害時における感染制御について理解する * 救護活動時の感染対策について理解する ※ 平時の準備として何ができるかグループディスカッションから導き出す	伊藤成美（日赤災害医療COT） 福田恵（感染管理認定看護師/日赤災害医療COT）	9月14日（木） 17：00-
FUNo.5. 災害の特性に応じた救護活動（90分） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅡ認定済みで、レベルⅢの申請を今年度計画しているもの ③過去にFU研修を受講済みのものでブラッシュアップしたい ④令和5年度常時救護班登録者は参加を推奨	* 災害の特性に応じた救護活動を理解する	堀井裕美（救護師長登録者/赤十字科目Ⅱ修了者） ・ 白鳥高広（救護師長登録者/DMAT看護） ・ 五十嵐優子（救護師長登録者/DMAT看護師） ・ 小山内友美（救護班看護師/DMAT看護師）	10月12日（木） 17：00-
FUNo.6. 被災者特性に応じた看護活動（講義30分+GW60分程度） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅡ認定済みで、レベルⅢの申請を今年度計画しているもの ③過去にFU研修を受講済みのものでブラッシュアップしたい ④令和5年度常時救護班登録者は参加を推奨	* 災害時に配慮が必要な方への看護を理解する 高齢者、妊婦、小児、障がい者、LGBT、精神障がい者 慢性疾患患者、女性	・ 佐藤麻美（救護師長登録者） ・ 遠藤恵美子（救護師長登録者） ・ 三浦則子（救護班師長登録者/DMAT看護師）	10月31日（火） 17：00-
FUNo.7. 災害時の遺体の対応について（講義60分GW30分程度） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅡ認定済みで、レベルⅢの申請を今年度計画しているもの	* 災害時のご遺体の対応について理解する	・ 富樫昭子（こころのケア指導者） ・ 菅原まゆみ（こころのケア指導者） ・ 佐藤真紀（公認心理師/こころのケア指導者） ・ 丸山真理子（公認心理師/こころのケア指導者）	11月9日（金） 17：00-

令和5年度 救護員としての赤十字看護師研修計画

	③過去にFU研修を受講済みの ものでブラッシュアップしたい ③令和5年度常時救護班登録者 は参加を 推奨			
災害看護実 践コース	亜急性期における災害時病院業 務支援演習 対象： ①令和4年度参加していない 看護師長 ②令和4年度参加していない 看護係長 ③チームリーダーを担うレベル Ⅲ取得済のスタッフ	1.災害発生時の、日赤グループメ リットについて再考し、本社 「病院業務支援」の仕組みを理 解する 2.疑似体験を通して、自部署のス タッフが「被災地に派遣される 場合」「自部署が支援を受ける 場合」の看護管理者としての対 応を考える 3.災害時部署BCPに反映する	伊藤成美（統括） 今野千春/堀井裕美 （赤十字科目Ⅱ修了） 松田大典/五十嵐優子/ 津谷千絵/稲垣紀子 （DMAT看護師）	5月18日（木） 10：00-15：00

1. 研修申込方法

4月の指定期日までに、看護勤務システム>ラダーメニュー>研修申込 から各自が申し込む。

1) 『部署学習会としての研修』は、部署で学習会に計画することが決まってから、各自で申し込む。

2) 『期日未定』や『学研視聴のみ（看護管理者）』の研修も、各自で申し込む。

期日決定時に、参加できない人は各自で取り消す。なお、追加の申し込みは不可。

2. アクションシート

※教育プログラムでは、学びを部署で発揮できる看護師を育成するため、学習と実践を統合させる目的があります。

そのため研修は「自己の課題・事前学習 → 研修（講義） → 部署での実践」のように段階的に進め、アクションシートは記載する内容となり、講師⇄参加者間で提出と返却が繰り返されます。

最後に講師から教育委員会にアクションシートが提出されてから、研修の出席が登録されますので、研修終了後まで無くさず管理する。

1) 指定がない場合、研修終了後にアクションシートを記載し、講師に提出。（従来通り）

2) 講師の指定がある場合は、それに従って提出。

3. 受講確認票

本研修は、本社プログラムであることから継続的に受講していることを確認する必要があるため、受講ごとに講師より押印をもらう

2023(令和5)年度レベル別教育プログラム

【対象別：看護補助者】

※看護チームの一員として、看護補助者が安全に業務を遂行するためには、看護補助者が働く環境やチームの一員としての看護補助者の役割や業務、責任に加え、看護補助業務を行う上で必要となる知識・技術を得得するための教育・研修を行うことが必要です。

また、診療報酬の看護補助者の配置に関する施設基準では、看護補助者は以下の基礎知識を得得できる内容を含む院内研修を年1回受講した者であることを求めています。

(日本看護協会「看護チームにおける看護師・准看護師および看護補助者の業務のあり方に関するガイドラインおよび活用ガイド」2021年度改訂版より)

研 修 名		研 修 内 容	講 師	日 時
＊看護補助者対象研修	a) 学研 e-ラーニングを各自で勤務時間内に視聴する。 b) 視聴後は指定の書類に師長終了日を各自記載する c) 上記を部署の看護師長が確認 d) 全員終了後に、部署の看護師長はb)の書類を業務担当副部長へ提出する e) 視聴する指定の研修は以下の行に示す	① 医療制度の概要と当院の組織体制と機能 ② 医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務の理解 ③ 看護補助業務を遂行するための基本的な知識・技術 ④ 日常生活にかかわる業務 ⑤ 守秘義務・個人情報の保護 ⑥ 看護補助業務における医療安全と感染防止 等	担当者：業務担当看護副部長	以下に示す日まで、各自で学研 e-ラーニングを視聴
	BAA2301(30分) 医療制度の概要および病院の機能と組織の理解	・日本の医療の現状 ・医療機関の機能と役割 ・日本の医療制度と今後の課題 ・医療機関の特徴		5/31まで
	BAA2302(30分) チームの一員としての看護補助者業務の理解～業務範囲と役割、夜勤業務、ほう・れん・そう～	・医療チームの機能と役割 ① 医療チームの機能と役割について ② 医療チームにおける看護チームの機能と役割について ・看護補助者の業務について ① 業務の特徴について ② 補助者の業務内容 ・夜勤業務について ① 業務の特徴について ・報告・連絡・相談(ほう・れん・そう) ① 働くうえで必要な看護師や同僚との連携	学研視聴 (日本赤十字社医療センター川上潤子看護部長)	6/30 まで
	BAA2303 守秘義務、個人情報保護の基礎知識(30分)	・守秘義務について ・個人情報の保護について ① 個人情報とは何か ② 個人情報の漏えいについて ③ 個人情報の取り扱いについて	学研視聴 (日本赤十字社医療センター ソルスティンみさえ看護副部長)	7/31 まで
	BAA2304 労働安全衛生の基礎知識(30分)	・安全衛生とは ・業務のなかで起こりうる事故や疾病 ・事故や疾病の具体例と予防策 ・健康管理	学研視聴 (日本赤十字社医療センター川上潤子看護部長)	8/31 まで
	BAA2305 接遇・マナーの基本 ～患者・家族へのかかわり方～(30分)	・接遇・マナーとは ・身だしなみの基本 ・医療現場での接遇・マナーの実例	学研視聴 (日本赤十字社医療センター ソルスティンみさえ看護副部長)	9/30 まで
	BAA2306 倫理の基本 ～医療機関において求められる倫理的な行動～(30分)	・倫理とは ・医療機関で求められる倫理的な視点 ・援助者として望ましくないケア	学研視聴 (日本赤十字社医療センター馬目裕子看護副部長)	10/31 まで
	BAA2316 医療安全 ～患者誤認による重大事故対応を中心に～(21分)	・医療安全の基礎知識～患者誤認による最大事故はなぜ起きるのか～ ・患者誤認を防止するための基本 ・事故発生時の対応	学研視聴 (日本赤十字社医療センター看護部 馬目裕子看護部長)	11/30 まで
	BAA2318 認知症患者の対応(19分)	・認知症の中核症状とかわり方(記憶障害/見当識障害/理解力・判断力の低下/実行機能の低下/失語・失認・失行) ・認知症患者の心理 ・認知症患者に対する対応 -質の良いコミュニケーション -認知症患者へのかかわり方	学研視聴 (日本赤十字社医療センター看護部 甲斐真沙実認知症看護認定看護師)	11/30 まで

＊看護援助技術 2回目 「清拭と体位交換」 各部署の部署別学習会で看護師・看護補助者と一緒に研修実施	看護補助者対象：日勤・夜勤全員 事前課題： 学習（看護補助者コース） 「清潔のお世話」（10分） 「排泄のお世話」（20分）	＊日常生活に関わる看護援助技術の知識・技術を習得する ＊看護助手として、看護師と協働して安全に援助するための技術を習得する ＊ポケットブック（看護助手用）の学習後に実践する	基準委員長 業務委員長	各部署で実施 数回開催。
＊看護援助技術 2回目 「移乗介助と搬送」 各部署の部署別学習会で看護師・看護補助者と一緒に研修実施	看護補助者対象：日勤・夜勤全員 事前課題： 学習（看護補助者コース） 「移動のお世話」（30分）	＊日常生活に関わる看護援助技術の知識・技術を習得する ＊看護助手として、看護師と協働して安全に援助するための技術を習得する ＊ポケットブック（看護助手用）の学習後に実践する	業務委員長 基準委員長	各部署で実施 数回開催。
＊看護援助技術 「感染対応」 NEW	看護補助者対象	研修目標： 感染マニュアルに沿った対応についての理解を深める 研修概要 ① 日常の対応での疑問・不安点を各部署で整理する ② 上記について業務担当看護係長や部署の看護師長と情報を共有し、現場で解決可能なものは部署看護管理者が応・指導する。 ③ 上記以外での疑問・不安点について感染対策室（感染管理認定看護師：福田師長）より指導・助言を受ける。	各部署の看護師長・業務担当看護係長・各部署感染委員 感染管理認定看護師： （感染対策室 看護師長：福田恵）	各部署の都合による 看護補助者会議でも受け付ける （7/19、10/18 12/20、2/21）

令和5年看護部教育計画（施設基準/看護部関連）

【看護補助者活用研修：看護補助者配置加算にかかるもの】				
※学研eラーニングシステム 看護補助者関連コース 看護職向け（師長等以外）				
	研修名	研修日時	対象者	備考
1	BAB2301（22分） 看護職と看護補助者との協働推進の背景	各部署で4月～7/31 まで視聴	全看護職員対象	業務担当係長がNo.1～ No.7の受講計画を 立案し、参加者一覧を ラダーメニューより 出力、各項目の テストを添えて 看護部へ提出する 締め切り：8月4日
2	BAB2302（26分） 看護補助者の位置づけ			
3	BAB2303（27分） 看護補助者との協働における看護業務の基本的な 考え方			
4	BAB2304（7分） 看護補助者との協働における業務実施体制			
5	BAB2305（21分） 看護師による看護補助者への指示について			
6	BAB2306（13分） 知っておきたい看護補助者へ適切な業務指示を行 うための留意事項			
7	BAB2307（18分） 看護補助者と協働するための情報共有とコミュニ ケーション			

【医療安全研修会：入院基本料にかかるもの】※年2回全職員受講必須 別途案内（医療安全推進室）

【院内感染対策研修会：入院基本料にかかるもの】※年2回全職員受講必須 別途案内（感染対策室）

【抗菌薬研修会：入院基本料にかかるもの】※年2回全職員受講必須 別途案内（感染対策室）

【重症度・医療、看護必要度評価者研修：看護師配置加算にかかるもの】				
※学研eラーニングシステム 重症度・医療、看護必要度研修コース				
	研修名	研修日時	対象者	備考
1	BC2301 一般急性期病棟編：看護マネジメントに活かす重 症度、医療・看護必要度評価のポイント	各部署で4月（配信）～ 10/31まで視聴	※4A,4B、5A, 5B,6A,6B,7B ※産科、新生児、 腎センター、手術 室、健診看護課、 外来、救急外来	※（新人職員以外）看 護師全員が、対象の研 修を視聴し、そのテス トを受ける。 基準委員は期日までに テストと合格者名簿を 看護部へ提出 締め切り：11月2日
2	BC2304 HCU編：看護マネジメントに活かす重症度、医 療・看護必要度の評価のポイント		HCU,ICU, 7HCU、救急外来	

令和5年看護補助者、看護必要度教育計画（施設基準以外）

※学研eラーニングシステム 看護管理コース				
	研修名	研修日時	対象者	備考
	AC2303（45分） 看護補助者と看護師の協働がかなえる医療の効率化～すべての看護スタッフが主体的にいきいきと働く環境をつくる～	7/1～8/31 *2023 7/1～配信	看護師長	学研のテストを添えて 看護部へ提出する 締め切り：9月1日

その他 【重症度、医療・看護必要度研修】

	対象者・研修名	研修内容	日時・担当
	新入職員対象 【重症度・医療、看護必要度評価者研修】 *事前課題 学研eラーニング視聴 （BC2301 一般急性期病棟編：看護マネジメントに活かす重症度、医療・看護必要度評価のポイント）	1. 重症度、医療・看護必要度を理解する 2. 重症度、医療・看護必要度の理解度テストで満点をとる。	8月31日（木） 15：00～17：00 基準委員会 テストで満点を取れなかった場合は、基準委員が担当し、部署で満点が取れるまで繰り返し受ける。合格のテル外名簿を提出する。 締め切り 9月25日 基準委員会まで